

日本蚕糸学会会員各位

東京大学大学院農学生命科学研究科の木内隆史です。

平素より「日本蚕糸学会 若手の会」にご協力いただきありがとうございます。

前大会が開催された東京農工大学でご挨拶させていただいたように、前代表の金児雄先生よりご指名を受けまして、2021年3月まで代表を務めさせていただきます。

若手の交流を深めることを第一に活動したいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

早速ですが、運営委員で企画した本年度の活動予定を以下に記載させていただきました。

若手の会運営委員からの企画 2019

1. 学術講演会（信州大学大会）における若手の会からの学生発表賞の授与

詳細については検討中ですが、学生数名に若手の会から発表賞を授与したいと考えております。学術講演会に向けて研究成果をまとめ、準備を進めておいて下さい。

2. 信州大学大会で若手の交流を目的としたグループ研究会を開催

若手の会主催のグループ研究会を開催し、交流を深めたいと考えております。みなさま奮ってご参加下さい。研究会後は懇親会も行い、より深く交流できればと企画を進めております。

3. 比較生理生化学会で共催シンポジウム

11月31日-12月1日に開催される日本比較生理生化学会 第41回東京大会（東京大学先端科学技術研究センター）におきまして、日本比較生理生化学会と日本蚕糸学会の共催シンポジウムを開催します（<https://cns.neuroinf.jp/modules/jscpb2019/symposium.html>）。蚕糸学会からは名古屋大学の田中 良弥さん、学習院大学の李 允求さん、私の3名が発表させていただくことになりました。ご都合がつく方は是非ご参加いただければと思います。

若手の会の常時活動

「若手研究者ネットワーク」との連携

日本学術会議では、30～45歳を中心とした若手研究者の組織として「日本学術会議若手アカデミー委員会」が設置されています。この委員会では、同じ時代に志をともにする学協会の若手の会および若手のグループと日本の学術の未来を考える「若手研究者ネットワーク」を組織しています。本会も、この若手研究者ネットワークとの連携を一つの目的として設置された経緯があります。本年度も、若手研究者ネットワークとの連携を進めて参ります。

最後に、新たに組織させて頂いた運営委員の方々を改めまして紹介させていただきます。

みなさま、顔をよく覚えていただき、大会等では気軽に声をかけていただければと思います。実験の秘訣から研究者としての心構えまで、答えてくれるはずです。



氏名：伊藤 克彦

所属：東京農工大学大学院農学研究院 蚕学研究室

連絡先：katsuito (アットマーク) cc.tuat.ac.jp

特技：ポジショナルクロニング

一言：皆さんとカイコの魅力について語り合いたいです！



氏名：藤井 告

所属：九州大学 農学研究院

連絡先：fujii.tsuguru.233 (アットマーク) m.kyushu-u.ac.jp

特技：染色体異常の構造解析

一言：ナショナルバイオリソースプロジェクトの支援のもと、九州大学は450系統もの多種多様な系統を分譲しています。ぜひ皆様の研究活動にご利用ください。



氏名：木内 隆史

所属：東京大学大学院農学生命科学研究科

連絡先：kiuchi (アットマーク) ss.ab.a.u-tokyo.ac.jp

特技：インジェクション

一言：新時代の流れによって蚕糸学会を盛り上げていきましょう。



氏名：二橋 美瑞子

所属：茨城大学 理工学研究科

連絡先：mizuko.osanai-futahashi.sci (アットマーク) vc.ibaraki.ac.jp

特技：分子生物学、細胞培養

一言：学生さんに負けないように新しいことに挑戦していきたいと思います。



氏名：坪田 拓也

所属：農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門

連絡先：tsubota (アットマーク) affrc.go.jp

特技：ゲノム編集

一言：ゲノム編集は夢の技術です。